

### 平成 29 年度 第 2 回 総合教育会議(平成 29 年 12 月 1 日)の話題提供(板谷)

■来年は「北海道命名 150 年」 フロンティア精神の礎づくりに貢献されたクラーク博士



クラークが最も重んじたのは、人格教育で「紳士たれ」の一言。

(紳士は規則に縛られて事をなすのではなく、自己の良心に従って正しい行動をする人間の事だ)

■「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変わると人格が変わる。人格が変わると運命が変わる。」

★子どもの心に灯をともし教育を実践したい。

■キャリア教育は、自分づくり教育。地域総ぐるみを前提とし、

「人とのかかわり」を基盤とした授業づくりを全校で行う。

確かな学力の向上を図るとともに、人とのかかわりを大切にしながら、

将来、社会的・職業的に自立できる大人を育てていく。

★育てたい力 ①かかわる力 ②いかす力 ③みとおす力 ④みつめる力 ⑤うごく力  
相互的に関連し「たくましく生きる力」

◎大樹町の財産 ⇒ 小・中・高校一校ずつのメリットを生かした連携教育

ふるさとを調べ体験し・よさを知ることによって、愛着を深める ⇒ 「大樹学」

★C. Sは、学校を起点に まちを豊かにしていく取組(地方創生とマッチ)

「まちづくりは、人づくり」 ⇒ 人材育成の中期展望を明確にして

★グランドデザイン化を図るために ⇒ 小・中・高 12 年間で育成する生徒の姿を  
設定し、共有することが大事 ⇒ 地域のよさを活かした 12 年間の指導計画作成  
「社会総がかりで豊かになっていく環境で育つ子ども達は、  
地域への肯定感を高め、未来への夢と志を育んで行くことができる。」

■就学前の幼児教育・保育の質が、今 注目されている。



人生の「根っこ」を育む幼児教育。 幼児期の豊かな育ちが、生涯の学びの基礎となる。

【幼児期の終わりまでに育てて欲しい 10 の姿】

- |                   |      |               |
|-------------------|------|---------------|
| ①健康な心と体           | ②自立心 | ③協同性          |
| ④道徳性・規範意識の芽生え     |      | ⑤社会生活との関わり    |
| ⑥思考力の芽生え          |      | ⑦自然との関わり・生命尊重 |
| ⑧数量・図形・文字等への関心・感覚 |      |               |
| ⑨言葉による伝え合い        |      | ⑩豊かな感性と表現     |
- ※遊びや生活の中で豊かな体験を通じて、  
何を感じ、何に気づき、何が分かり、何ができるようになるのかを意識し。

◎子ども達が生まれ、育ち、将来的には参画し、支えていくことになる地域の力を借りながら、子ども達の成長を「みんなで」促し、見守っていく社会のシステムづくりの一步前進を。